事　業　名	期　日	場　　所
西宮神社『福男』今金米奉納	1月9~10日	兵庫県西宮市

活　動　内　容

兵庫県・西宮神社で行われている、『十日戎開門神事福男選び』で１番から３番がその年の福男として讃えられる行事が行われ、１月 10 日　６時開閘で約 5000 人が参加、先着１５００名から抽選で選ばれた１０８名がトップ集団として駆け抜けた。結果、 一番福・同志社大１年の京田世紀さん（19）

二番福・大阪体育大１年の畑中悠志さん（19）三番福・京都産業大１年の岸本貴文さん（18）となり、二番福に『福米』として今金産米が贈呈される栄誉ある奉納が実現できました。

●福男選びの神事の起源は、鎌倉時代、西宮神社の周辺では宵戎の夜は居籠りと云う風習があった居籠りとは本戎を祝う前に静寂の時を過ごし、家に籠って身を清める意味があった１月 10 日、本戎の午前０時神社は門を固く閉ざして深夜４時から厳粛な神事を執り行うそして神事を終えた午前６時信者を迎い入れるため、ようやく神社は門を開けるするとこの瞬間、居籠りを解かれた信者たちは我こそが一番乗りと言わんばかりに一斉に家から神社までを駆け抜けていくこの風習こそが現在の福男選びの起源ではないかと伝えられている。

この度の栄誉は、今金産米を扱っている『阪神米穀（株）』さんの田中社長の多大なるご配慮とホクレン大阪支店、そして、今金農協の販売努力と熱意が伝わり実現したところです。

当日は、内ヶ島専務、工藤課長と町長の３名が出向き、会社訪問方贈呈を行う事が出来ました。

吉井宮司さんからは、“これからも引き続きお願いします”との有り難い言葉を頂き、農協と協力して、今金米！北海道米！のアピールをして参りたいと思います。凄い反響を感じます。











